

ー はるな生協の現況ー
(2026年 6 月25日現在)

組合員数 19,649人
出資総額 385,607,500円
一人平均出資額 19,625円

組合員の皆様へ。氏名、住所変更をされた方は、本部までご連絡ください。
電話 027(388)0011

緑十字

ISO9001 認証取得

はるな生活協同組合

高崎市上中居町1461-1
電話 027 (388) 0011
(毎月10日発行)
発行人 鈴木 隆

7 月号

組合員の皆様へ。住所や氏名が変わったとき、組合員がお亡くなりになったときには、下記にご連絡ください。本部 ☎027 (388) 0011

住み慣れた地域で居心地よく暮らせることを支える生協として

第74回通常総代会

小雨模様となった6月20日、第74回通常総代会が高崎シティギャラリコアホールで行われ、総代(書面議決含む)・役員・傍聴合わせて220人が参加しました。

提案された4つの議案は、全て賛成多数で可決されました。その他、今年度の新入職員紹介、昨年度の仲間増やしと出資金増やしの目標を達成した地域支部と職場・事業所の表彰などが行われ、終わりに退任理事と新任理事の紹介がありました。

各選任が行われました。

はじめに、開会では佐藤満幸常任理事より本総代会成立の宣言がありました。

議長には、倉賀野支部の小笠原真明総代と吉井町支部の黒沢かほる総代が選出されました。その後議長から書記・議事運営委員・資格審査委員の



開会あいさつ 佐藤満幸理事



採決

鈴木理事長より、はるな生協のいろんな施設を有効活用して医療と介護を連携させ地域で過ごしやすいまちづくりを進めている、中堅の医師が2人加わり活躍が期待される、「おとなの予防接種手帳」を作ったので活用してほしい、健康を守る。

健康を守る・平和を守る活動を



メッセージ紹介 竹島俊海総代 左 黒沢議長、右 小笠原議長



平和を守る活動にもっと力を入れて進める時だと思ふ、とあいさつがありました。



鈴木隆理事長 あいさつ

はるな生協の役割を意識した取り組み

酒井潤専務理事より、2025年度の事業報告と2026年度の事業方針が提案されました。

2025年度は、積極的な入院受け入れ、法人内外の連携強化による利用者確保で2年連続黒字達成したことが報告され、組合員活動では支部と職場のペア行動の提起や各種活動の報告がありました。

2026年度は、今後の高齢化が進む時代を見据えたはるな生協の役割を意識し、引き続き紹介を断らない、在宅診療や外来・健診の利用者増、さらには居場所づくりなどの組合員活動の活性化などが提案されました。



酒井専務

監査報告

田島仁監事から監査報告がありました。



田島仁監事

新入職員の紹介

新入職員紹介が上田浩二看護部長より行われました。7人の新入職員があいさつし、会場は温かい拍手に包まれました。



新入職員

7人から発言・報告

田中富美子総代 (第6支部)

ほへえみの杜・虹の家とペアになり、支部代表者会議で何をしようか相談した。実現できたのは虹の家の見学と、班会参



第6支部 田中富美子総代

加。これからのいい連携を築きたい。

佐藤琢也総代(職員支部) 第6支部の班会に初めて参加し、歩くことについて話した。高齢者住宅と違う視点で考えることで成長できた。



虹の家 佐藤琢也総代

新井トヨ子総代 (高南支部)

この春、新班「ポチとスマホ班」ができた。きっかけは支部役員のグループラインでの情報発信のおかげで仲間増やし目標が達成できた。もっと活用できるようにしたいと、あせらず楽しみながら学習会をしている。



高南支部 新井トヨ子総代

はるな生協 活動組合員

はるな生協 協同組合

文春が6週連続でスクープを報じています。高市事務所が起業家に依頼して自民党総裁選と衆議院選挙で対立候補への誹謗中傷動画をSNSに大量に流し、画面を作った本人が取材に応じてそう明かしました。現代ビジネスも別件でこの人物の件を報じました。高市事務所の公設第一秘書と誹謗中傷動画を作成した起業家は面識がある事を秘書が認める回答をした物的証拠があるそうです。▼高市首相は国会の予算委員会ではこれらの件を質問されたと「私も秘書もその方とは面識がありません」と否定し続けています。6月5日の山添議員の質問には「通告があったから(現代ビジネスの)記事は読みました」と質問には答えず「言い放ちました。」つまり、秘書と起業家の接点があることとお認めなんですね」と「認めておりません」との答弁です。秘書が回答したことを認めないという事です。▼その後6月7日に共同通信が誹謗中傷動画を投稿したとされる起業家の証言を報じたこと、局面的な事実だと言われている。共同通信の記事は日本中の地目。この記事が多くの人の目に触れる事になり、す。物的証拠と証言は揃っていません。真相が明らかになることを願います。(No.6)



高南支部 野口祐美総代

野口祐美総代（高南支部）
16年続けてきた反貧困活動が2025年12月で終了したことをスライドを使って報告。始めたきっかけから炊き出し、ハローワーク前何でも相



つむぎ 加藤由実職員

加藤由実職員（傍聴）
訪問看護とつむぎ、病院との連携で看取りをしたご夫婦の事例をスライドを使って紹介。



第5支部 富田英子総代

富田英子総代（第5支部）
緑十字を配っていて、感動的な話を聞いた。「いい病院に巡り合えた」「個別送迎の範囲ギリギリのところだけど認められてリハビリが続けられている」と喜ばれた。



退任監事
関宏
（非常勤・特定監事）

退任理事・監事

退任理事
大野清
（非常勤・南八幡支部）
高橋賢二
（非常勤・塚沢支部）
清水政志
（非常勤・第5支部）

退任役員と 新任役員の紹介



第5支部 飯野和子総代

飯野和子総代（第5支部）
緑十字を配布しているが、配布率の低さに驚いた。年1回の郵送で組合員さんが亡くなっているも誰かがいれば届いてしまう。「ポストに入れないで」と具体的に書いてあったのでしたらよいかな悩んでいる。

談会、無料低額診療、シングルマザー支援、子ども食堂の活動紹介、今後の支援のあり方について等。



表彰支部のみなさん



第74期理事

平井敏久（非常勤）
新任理事
田口正美
（非常勤・塚沢支部）
小林聡史
（常勤・通町診療所所長）
新任監事
宮口喜良（非常勤）



閉会あいさつ 山田幸弘理事

2025年度
年間目標達成支部
○仲間増やし・出資金増やし
江木支部、佐野支部
○仲間増やし
高南支部、2階病棟
○出資金増やし
塚沢支部、片岡・八千代支部、倉賀野支部、中居第二支部、上中居支部、高関支部、群馬町支部、健診室、つむぎ



健康づくり委員会が長年にわたり、組合員ふれあい会館にて行ってきた「はるな健康体操」ですが、2026年6月20日をもって、終了することとなりました。
これまで、多くの組合員の皆さんにご参加いただきましてありがとうございました。
今後につきましては、地域の班会等でお声がかかった際には、健康づくり委員会が「出張はるな健康体操」を行っていくこととなりました。お声掛けをお待ちしております。

ふれあい会館で実施の 「はるな健康体操」 終了のお知らせ

介護事業所の現場から

訪問リハビリのやりがいについて（セラピスト目線）

訪問リハビリは、利用者の自宅で生活に直結した支援を行い、生活機能の改善や家族の負担軽減を実感できる点に大きなやりがいがあります。

生活機能改善は、単なる運動療法だけでなく、生活動作の再構築や自立支援が中心です。例えば「トイレに一人で行きたい」という希望に対し、筋力向上だけでなく動作の練習、環境調整や家族への介助方法の指導や工夫を行い、実際に自立や成功したときに達成感があり、また介助量が減ることでご家族から感謝の言葉をいただき、仕事へのモチベーション向上や意義を強く感じます。

その人（利用者）の人生や生活に深く関われることもあります。実際に利用者の家や生活環境の中で、長年の生活歴や趣味、家族との関係などを知り、より個別性の高い支援が可能になり、専門職としてのやりがいを感じます。

訪問リハビリでは外出や庭仕事など、利用者の希望に応じた多様なリハビリを提供します。課題解決のため専門知識を活かし生活支援を行うことが求められ、専門職としての成長や達成感を得やすい職場となっています。

医療分野と介護分野での違いはありますが、医師や看護師、ケアマネジャーなど多職種と連携しながら、チーム医療の中で自分の役割を実感することです。利用者の生活再建に向け、専門職として主体的に関わることが大きなやりがいとなっています。

訪問中に風景や季節の変化に触れたり、気分転換や新たな課題発見につながったり、また利用者との会話や生活背景の理解を深め、信頼関係の構築や支援の質向上につながり、仕事の楽しさが感じられます。

このように訪問リハビリは、利用者の「その人らしい生活」を支える仕事であり、生活機能改善、家族支援、専門性の発揮、チーム医療への貢献など、多面的なやりがいを実感できるリハビリ職種です。

高崎中央病院リハビリ課（訪問リハビリ）

熱中症から命を守ろう 正しい知識で早めの対策を

厳しい暑さが続く中、熱中症への注意が一層求められています。近年の日本の夏は気温上昇が顕著で、毎年多くの人が熱中症で搬送されており、特に高齢者は重症化しやすい傾向にあります。

熱中症は、暑さによって体温調節がうまくいかなることで起こり、めまいや頭痛、吐き気、全身のだるさなどさまざまな症状を引き起こします。重症の場合は意識障害に至り、命に関わる危険もあるため早期の対応が重要です。高齢者は暑さやのどの渇きを感じにくく、屋内でも発症するケースが少なくありません。

予防には、のどが渇く前のこまめな水分補給や適度な塩分摂取、エアコンを我慢せず適切に使用することが基本となります。無理をせず涼しい環境で過ごすことに加え、家族や周囲が声をかけ合うことも大切です。日頃の心がけが、命を守る鍵となります。

（看護部長）

お詫びと訂正

緑十字5月号・6月号でご案しました「上州歴史散歩」の中で見学箇所を「松本村跡」と記載してしまいましたが、正しくは「松木村跡」でした。お詫びして訂正いたします。

（教育文化委員会）

終わらない 原発事故

福島被災地視察

晴天の下、5月29日、組合員さんと職員あわせて34人で福島第一原発事故の被災地を見学しました。現地をご案内くださった丹治杉江さんから、事故から15年が経った今も続く地域の状況を丁寧に教えていただきました。視察の中で、広く残る帰還困難区域や、暮らしが十分に戻っていない現実を目にし、復興の道のりの長さを実感しました。今回の学びを忘れず、この問題に向き合い続ける大切さを感じました。



高南支部4つ目の班は、4月に誕生して3回目の班会が、6月18日組

正式名称が決まった

高南支部 ポチッとスマホ班

この日は、ケーキを皆で作作り、スマホで写真の撮り方、LINEで写真を送る方法を勉強しました。もちろんケーキは美味しかったです。

高南支部4つ目の班は、4月に誕生して3回目の班会が、6月18日組



6月11日に毎年恒例のお楽しみ、サクランボ狩りに出かけました。

恒例のサクランボ狩り

乗附支部 下乗附班

ハウスに入ると、高い枝も杖を使ってたぐり寄せ、「こっちの木は甘いよ」「こっちはおいしい」と、赤く色づいたサクランボをたくさんおぼりしました。少し休憩しておまけのミニパフェを食べながら、また来年も来られるように元気でいようねとたくさんおしゃべりしてきました。

活動報告

平和行進を歩いて

高崎ー前橋のメインコースを6月12日に初めて歩きました。沿道の方々の温かい笑顔と手振りに、何度も胸が熱くなりました。私たちの想いは決して独りよがりではないと、静かな確信をいただきました。

行進中、笑顔の女性が声をかけてくれました。「私、広島の人だけん（核兵器はいらない）の平和行進を嬉しい、ありがとう」と。車からも応援の手ふりがあつたりと、わたしたちの一步一歩がちゃんと届いているんだなあと嬉しくなりました。

小八木町

（投書より）



すこしお レシピ

「すこしお」とは…

「少しの塩分ですこやかな生活」を目指す医療福祉協のとりくみの総称です。



チンゲン菜とえのきだけのだし煮

●材 料（1人分）

- ・チンゲン菜…………… 200g
- ・えのきだけ…………… 100g
- ・だし汁…………… 1/2カップ

〈1人分の栄養価〉

7 kcal 塩分 0 g

●作り方

- ①チンゲン菜は4～5cmの長さに切り、根元は縦8等分に切る。えのきは石づきを切り除き、長さを半分に切ってほぐす。
- ②なべにだしを入れて煮立て、チンゲン菜の根元を加えてひと煮する。チンゲン菜の葉、えのきを加えてふたをし、中火で2～3分煮る。しんなりとなったら全体を混ぜてひと煮する。



ちょっと一言

だし汁で煮るだけでしみじみおいしい！
食材の味をシンプルに楽しめる一品です。
冷まして作りおきの品にも使えます！

（高崎中央病院栄養科 調理師 ）

第27回健康まつり 10月25日(日)開催予定

オレンジ・ランプ

39歳、パパが認知症!?
どうする、私!!



開催日 9月19日(土)
場所 高崎市総合福祉センター2階 たまごホール
上映時間 午前の部 午前10:30～12:30
午後の部 午後 2:00～4:00
※開場は上映時間の20分前です。

前売券
●一般・シニア 1,200円(当日1,400円)
●当日のみ：高校生以下1,000円
主催/はるな生活協同組合
後援/高崎市・高崎市教育委員会
お問合せ/027 (323) 2762 組合員活動部